令和6（2024）年度栃木県幼小連携推進会議開催要項

1 趣 旨

平成29年に公示された3要領・指針において、満3歳以上の教育のねらい及び内容が共通となるとともに、小学校教育との円滑な接続について明記され、小学校学習指導要領においても、入学当初において生活科を中心とした指導の工夫や、「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」を踏まえた指導について明記された。令和元年より幼児教育・保育の無償化が開始され、教育の機会均等化、質の保障がこれまで以上に進んでいる。

令和3年7月には、中央教育審議会初等中等教育分科会の下に「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」が設置され、令和5年2月に、これまでの審議が「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」として取りまとめられた。ここでは、架け橋期の教育の充実を図るためには、子どもに関わる全ての関係者が立場を越えて連携・協働することを通じて、幼児教育や小学校教育の充実を図るとともに、子どもの健やかな成長に不可欠である家庭や地域の教育力の向上へとつなげていくことが重要であるとされている。

令和5年12月には、「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」が閣議決定され、社会全体の認識共有が強力に推進されている。

また、本県では「栃木県教育振興基本計画2025」において、「基本目標Ⅲ 未来を切り拓く力の基礎を育む」の「基本施策5 確かな学びを育む教育の充実」に「主な取組（1）学びの基礎を培う幼児教育の充実」を掲げ、幼児教育と小学校教育の接続を見通したカリキュラムの充実が重要であるとし、幼小カリキュラム接続事業を実施している市町数を推進指標としている。

これらを踏まえて、栃木県幼児教育センターでは、とちぎの子どもの健やかな成長を目指して、本県幼児教育行政の施策・事業を「とちぎの幼児教育」に整理し示した上で、各機関と連携を図りながら施策・事業を展開している。

こうしたことから、栃木県の幼小連携をさらに深化・拡充するために、架け橋期に関わる各機関から広く意見を聴取し、幼小連携についての現状と課題を明らかにしながら今後の施策展開に資するものとする。

2 開催日時

第1回	令和6（2024）年6月18日（火）	13時30分～16時
第2回	令和7（2025）年2月7日（金）	13時30分～16時

3 会 場

- 第1回：栃木県総合教育センター
第2回：栃木県総合教育センター

4 内 容

(1) 第1回

- 「令和6（2024）年度 とちぎの幼児教育」について
- 架け橋期の教育の充実に関する現状と課題について

(2) 第2回

- 「令和6（2024）年度 とちぎの幼児教育」における施策・事業の実施状況について
- 架け橋期の教育の充実に関する取組や今後の展望について